

大子でバイオマス発電

町が協定 来秋、本格稼働目指す

再生可能エネルギー事業を手がけるエジソンパワー（本社・東京都中央区）が、大子町矢田に木質バイオマス発電所「だいち森林の発電所」を開設する計画を進めている。来夏に試運転を予定しており、来秋に本格的な発電の開始を目指す。町は1日、同社と企業立地に関する協定を結んだ。

・エンジン方式で発電。燃料は町内の未利用木材を活用する方針で、林業関係者でつくる「だいち再生可能エネルギー協議会」（増子秀夫会長）が提供する。また、発電の過程で生まれる熱エネルギーを利用して温泉水を温め、町営の入浴施設に供給する予定だ。1日には町役場で協定書の調印式が行われ、綿引久男町長と同社の山田敏雅社

企業立地に関する協定書に調印して握手する綿引町長（左）と山田社長（1日、大子町役場で）



長がサインした。山田社長は「再生可能エネルギーによる地域活性化に貢献できるように必ず事業を成功させたい」と意欲を見せた。